

仲間はずれにする理由とは何なのでしょう？

きっと、よほどのことでもないと思います。そんなに、ひどいことでもないでしょう。たとえ、ひどいことだとしても、本人に口で言えればいいと思います。別にきつく言えとっているんじゃないかと、その場・出来事・その子に合わせて、言えればいいと思うんです。

言われた子も、自分が悪いと思ったら、素直にあやまるべきです。

理由も何もないというのはおかしいです。いじめているようなものですから。だから、相手の気持ちを考えてほしいのです。

自分だけ楽しんでいないで、みんなで楽しんだ方がいいと思います。私はこういう考えを持っています。

「明るく楽しいクラス、そして社会への心がけ」

海蔵小学校6年1組 中山 亮子

私は、悪口をいったことがある。

でも、私も悪口やあだ名をいわれたことがある。今思うと、自分が悪口やあだ名を言われたとって、人に悪口をいうのは良くないと思った。

私は、知らないうちに悪口をいっていることもある。言った方は、「知らないうちに」とかいうけど、言われた方はどんなにいやだろう。

自分だって言われたことがある。知っているはずなのに、つい悪口を言ってしまう。この悪口は、江戸時代の差別のようなものだと思う。

江戸時代の差別は、身分制度という、農民に対する差別や、さらに農民より低い身分の人への差別があった。このように、江戸時代からずっと差別は残っている。

これから、私たちは、どのようにすれば差別がなくなるか考えなければならないのに、この頃、私たちのクラスには、悪口・かげろ・あだ名などが増えている。どれも人のいやがることばかりが増えている。

このように、このまま悪口が増えていくと、思いやりのない、とてもいやなクラスになってしまう。

だから、これからは、明るく楽しいクラスになるようにそして差別をなくすように、私たち一人一人が少しずつ悪口を無くし、人のいやがることをしないように、思いやりをもつように心がけてがんばっていきなさい。

そして、明るく楽しい社会をつくりたいです。

(選考委員長より) 全員に優秀賞をあげたいぐらい、心のこもった作品が寄せられました。部落差別や、男女差別、障害者のハンディ、母子・父子家庭へのいじめなど、差別はさまざまなかたちをとり、中には表面にでてこないものもありますが、差別をうける側にとっては、いわれのないこと、又、自分に責任のないことで差別をうけるのですから、こんなに悲しく憤りを感じることはありません。作品の中にもありましたが「差別される人の気持ちになって」考え、行動するようになればどんなにか良い世の中になることでしょう。

なお、今回応募された方には、全員参加賞を、入選された方には賞状を贈呈しました。

ポスターについては、人権擁護週間(12月4日~10日)にちなみ、海蔵地区市民センターに掲示してありますので、ぜひごらん下さい。

(同推協委員より) 本当に甲乙つけがたい作品ばかりでした。海蔵小学校の児童以外の作品が少なかったのが残念ですが、次回はもっと多くの作品が寄せられることを希望しています。

それにしても、学校やクラスにおけるいじめや仲間はずれ、外からみていると目立たないけどけっこうあるんですね。

そういえば、平成3年の7月に海蔵小学校の4~6年男女338名にこたえてもらったアンケートの中で、「いじめっ子のことが気になる」と答えた子が66名もいてその中には「集団でいじめる」とか「上級生が下級生をいじめる」とか「女子が(口で)男子をいじめる」とかいう意見が出ていました。(男子も口では女子に負けるのかな?)

又、「今住んでいるところを変わりたいか?」という問に対して、「かわりたい」と答えた子が36名いました。住んでいるところをかわることが、そのまま転校にはならないけど、かわりたい理由が、「いじめのため」だったら、本当に深刻な問題ですネ。でも、同じ年の地区懇談会の中で、「今一番なくさなければならぬいじめは?」という問に対して「転校生に対するいじめ」と答えた父兄が7名もいたから、転校してもいじめや仲間はずれはついてまわるといえます。(もちろん、「学校やクラスでのいじめや仲間外れ」は「部落問題」とならんでトップでした。)

(その他お願い) 作品の中には、語力の不足等で、意味のよくわからない箇所もあると思いますが、子どもたちの熱意をくんでご理解いただきますようお願い申し上げます。

人権・同和問題アンケートへのご協力ありがとうございました。

過日、実施しました、人権・同和アンケートについてご協力ありがとうございました。おかげさまで、77.5%という高回収率となりました。特に、設問作成の段階から開封作業・点検整理・最終チェックにいたるまで、重なる会合に終始快くご協力いただきました委員のみなさまには心より厚くお礼申し上げます。

○ アンケートに関する現在の状況

配付数(全世帯に)	3,679	回収率
回収数	2,851	77.5%

12月4日(金)	最終チェック完了
7日(月)	市情報管理課にて、電算集計開始
18日(金)	電算チェック完了

○ 今後の予定

12月~2月中旬	最終集計完了
3月上旬	本年度同推協最終委員会にて報告

※データの本格的な分析や、考察(特に記述式のもの)は、新年度の大きな課題になると思います。

今回の調査にあたっては、各自治会の会長各位や、組長の皆様にはたいへんお世話になりました。市政アンケートをはじめ、各種のアンケート調査でも、回収には苦慮しているのが実情のようですが、今回は80%近くの回収ができましたことは、ひとえに自治会の皆様のご理解とご協力のたまものと深く感謝しております。

当同推協では、アンケートに寄せられた地域住民の方々の声を、今後の明るい街づくり、住みよい地域社会づくりへの大いなる参考にさせていただきますと念願しております。今後とも何かと、ご支援・ご協力をたまわりますよう、よろしく御願い申し上げます。

最後に、地区のみなさま、ご家族そろって どうか良いお年をお迎え下さい。